

ちいき い その地域にもともといた生きものを まも そだ 守り育てよう



<こんなことをしたら自然生態系が台なしだ!>



川にコイを放流する

ニシキゴイなどの飼育ゴイは人間が改良した品種であり、野生の生きものではない。だから、川に放しても、その川の自然生態系が豊かになるわけではない。それどころか、野生の魚のふんまでエサを食べてしまう。



野草をぬいてコスモスだけにする

コスモスはメキシコが原産の園芸種。花などで楽しむのは問題ないが、野外に生えている野草をぬいて、かわりにコスモスだけにするのは、その場所にもともとあった生きものをつなぐりをこわしてしまう。



ほかの地域にすんでいたホタルを放す

ホタルは、地域によって大きさや光りかたなどがちがう。たとえば関西のゲンジボタルは2秒に1回、関東のものは4秒に1回光る。見た目が同じでも同じ性質のホタルとは限らない。

指名手配中!

問題になっている移入種



オオクチバス
(ブラックバス)



アメリカザリガニ



ウシガエル



アライグマ



セイタカアワダチソウ

移入種が日本ならではの

自然生態系をこわしている

もともと日本にいた生きものは「在来種」、外国や国内でもほかの地域からやってきた生きものは「移入種」と呼ばれる。

移入種の中には

- 在来種のふんまでエサを食べてしまう。
- 在来種そのものまでも食べてしまう。

など、なんらかの問題を引き起こすものが多い。そうすると在来種は姿を消し、その地域にあった生きものとの関係はこわれてしまうんだ。